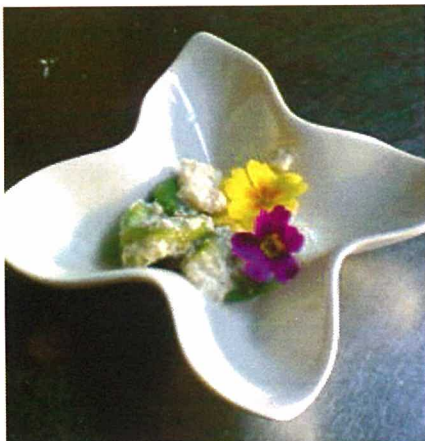


<栄養士さんのおすすめの一品シリーズその5>

## そら豆の白和え



[材料：一人分]

- ・そら豆 5個
- ・豆腐 1/4丁

(調味料)

- ・すりゴマ 大匙 1/2
- ・砂糖 大匙 1/2 塩
- ・しょうゆ 少々

### ●●● 作り方 ●●●

そら豆は、さやからはずして好みの硬さまで熱湯でゆでる。ざるにあげてさます。豆腐は水切りして調味料を加え、さらに摺り、そら豆と和える。時間のあるときは、豆腐は、熱湯で2・3分茹でて使う。(い)

発行：からだのとしよしつ ボランティアグループ  
からだのとしよしつ (東邦大学医療センター大森病院 2号館 3階)  
開室日時：9:30~16:30 土・日・祭日はお休みです。  
WEB版「からだのとしよしつ」でも資料と探し方のご案内をしています。  
<http://www.mnc.toho-u.ac.jp/mmc/karada/>

東邦大学医療センター大森病院

# からだのとしよしつ

だより

(7号 '09. 5. 20)



【資料の紹介】 おすすめの一冊

『家族と専門医が一緒に作った  
小児ぜんそくハンドブック2008』

(日本小児アレルギー学会監修 協和企画 2008)

\*\*\*\*\*

■書名のとおり、患者家族と専門医が協力して作った一般向けの診療ガイドラインです。

■本書の作成者である「家族と専門医が一緒に作った小児ぜんそくハンドブック 2008」作成委員会は、4名の患者・支援者委員、6名の医師委員、2名のコーディネーターチームによって構成されたものです。

■作成委員会では、患者・支援者委員が内容を構成し、原稿も執筆し、それを医師委員が医学的見地から支援するというかたちで、約2年をかけて、真の「患者のための患者による診療ガイドライン」としての本書が完成しました。B5版 125p. ¥1,575です。

(Os.)

## 第8回全国患者図書サービス連絡会講演会に参加して

全国患者図書サービス連絡会は、患者さんへの図書サービスに関わっている人々の連絡と協力を推進することを目的にした会です。入院患者さんに対しても、元気なときには書店や図書館で本を選び読めたと同じように、入院中でも、教養・娯楽書、医学・医療情報を提供する活動を支援しております。

さる2月14日の講演会では「信州大学附属病院に市立図書館機能をもった図書館ができます」、「司書が突然患者になって:その後」、そして「患者図書室で働いて」の3つの演題がありましたのでご紹介します。

### \* こまくさ図書室

1番目は信州大学医学部附属図書館で、平成21年5月より市立図書館のような機能を備えた病院図書室を開設することについての紹介でした。医療関係の本を病院で用意し、読み物の本は市立図書館から借用し、患者様と市民へサービスします。そのため入院患者様はもちろんのこと、市民の方々も病院図書室へ行けば貸し出しが受けられ、返却は市内のどの図書館でも可能になりました。このように病院図書室が市立図書館の機能を持った事例は初めてでしたのでとても興味深く、活動が開始された後の利用者の声をお聞きしてみたいと思いました。

### \* 医療情報を使いやすく

2番目は医療系の図書館に勤務された経験を持つ司書が、がんになったとき、どのように自分の病気に関する情報とかわかりを持ったかという内容でした。患者という立場になったとき、検査・治療方針等についてインフォームド・コンセントが求められ、

自分で選択しなければならないのですが、一般的にはまだ公共図書館で専門的な医療情報を提供しているところは少なく、インターネットを個人で利用したりして情報を得ているケースが多いのが現状です。この方の場合にはご自分の職業上の経験がいかされましたが、その経験をとおして、医療系文献データベースの市民への無料公開が必要だと、強く思われたそうです。

アメリカには、米国国立医学図書館(NLM)が提供するPubMedというデータベースがあり、インターネットにより世界中に無料で開放されています。日本国内では医中誌Web, JDreamIIなどが代表的なデータベースですが、これらは有料となっているため市民にとっては使いにくい状況です。

### \* にとな文庫

3番目は千葉県がんセンターの患者図書室「にとな文庫」の紹介でした。その中で、このようなパンフレットが配布されていることも紹介されましたので、以下に引用します。

〈こんなときは「にとな文庫」へどうぞ〉

- ・診療中に説明を受けたけれど、よくわからなかった
- ・説明はうけたけれど、やっぱり不安だ
- ・検査結果が出たけれど、見てもよくわからない
- ・自分の病気や治療について、もっと知りたい
- ・情報が色々ありすぎて、どれが良いのかわからない

「からだのとしょしつ」では、医療系データベースについては、主治医の了解のもと、スタッフが代行検索いたします。

また「にとな文庫」と同様、患者様の様々な疑問にお応えできるようスタッフがお待ちしております。ぜひおいで下さい。

(S.F.)